



発行:新しいステージの神戸をつくる会
Apr 2017 第6号

651-0084
神戸市中央区磯辺通4丁目2番26号 新芙蓉ビル内

TEL:078-222-0155
FAX:078-222-0166

Vol
6

KOBE 上昇気流

あなたとともに、神戸を新しいステージへ



みなさまのご支援で神戸市長に就任させていただいてから、まもなく3年半となり、平成29年度予算は私にとって4度目の予算編成となりました。

人口減少社会の克服をめざして、若者に選ばれるまち、誰もが活躍できるまちをめざした「神戸2020ビジョン」に掲げる施策をはじめとする、神戸の新しい未来を切り拓く施策を積極的に展開していきたいと考えております。

引き続き、みなさまにお約束した「輝ける未来創造都市」の実現に向けて、全力で、着実に取り組んでまいりますので、一層のご支援をよろしくお願いいたします。

また、私は、日頃感じたことをブログに書き留めております。「久元喜造ブログ」をご一読いただければ幸いです。

平成 29 年 4 月

神戸市長 ^{ひさ}久 ^{もと}元 ^き喜 ^{ぞう}造

久元きぞうの政治理念

市民の知恵をあつめ、形にする政治

我が国を代表する国際都市を創り上げ、戦災、震災を乗り越えてきた神戸市民には、数々の試練と経験に鍛え上げられた、たくさんの知恵があります。

私は、市民のみなさんの知恵をあつめ、他者と社会のために役に立ちたいという想いを共有し、市民のみなさんの知恵や想いを形にしていきます。

市民の代表である議員から構成される神戸市会とは、緊張感のある信頼関係を構築します。

後ろ向きの議論を排し、不毛な対立に陥ることなく、前向きで生き生きとした議論を展開し、各分野の政策を練り上げていきます。

スピード感を持ち、実現する政治

突然の震災への対応、復旧・復興、財政再建に取り組んでいる間に、多くの政策課題が山積してきました。これらの課題に立ち向かい、さらに新しい時代の変化に対応していくためには、スピード感をもって機敏に行動していかなければなりません。

民間人材を積極的に登用し、市役所職員のみなさんと一体となった「最強の仕事人チーム」をつくりあげ、国政、県政との緊密な連携により、政策を迅速かつ強力に実現していきます。

公正で折り目正しい行政

すべての市民に公平で、正義感と倫理観に貫かれた政治姿勢を大切にします。

清潔で清明な政治姿勢を持ち続けます。

独善に陥らず、かつ、右顧左眄することなく、信念を持って市政にあたります。

不当な要求に応じることなく、職員を行政暴力から守り、基本を踏み外さない、折り目正しい行政を進めます。

久元 喜造ブログ



六甲の山並みや海・街を眺めたり、 田園地帯を歩いたりしながら、記しました。

神戸市長 久元きぞうは、市長就任前の平成25年6月からブログを始め、就任後も公務の合間を縫って3～4日に1度のペースで更新しています。

神戸市政に関する事のみならず、神戸の自然・文化に関する事や、読んだ本の感想、幼少期の思い出等々、様々な事柄に対して、自身が感じたままを書かれており、神戸市長 久元きぞうの人柄がうかがえる内容となっています。

紙面の関係上、本号では、ほんの一部しかご紹介できませんが、「久元喜造ブログ」にアクセスしてご愛読いただければ幸いです。

久元きぞう

検索

クリック

『べっぴんさん』に 「名の無い茶房」が登場 (2017年3月17日)

連続テレビ小説『べっぴんさん』は、録画して、1週間か10日遅れくらいで見えています。

先日は、良子のご主人の小澤勝二が、定年の後、キアリスの跡地に喫茶店を開店するシーンが出てきました。喫茶店の名前はなく、看板には何も書かれていません。いわば「名の無い茶房」です。

このシーンを見て、新開地にあった喫茶「名の無い茶房」を思い出しました。違いは、名前が「名の無い

茶房」であったことです。

1960年代前半、私は、旧川池小学校に通っていました。どこにあったのか、よく思い出せませんが、よくお店の前を通ったことは確かなので、通学路にあったのか、よく遊んだ新開地の通りにあったのだと思うられます。

勝二が開店した「名の無い茶房」は、グリーン系の色ですが、新開地にあった店は、何となく茶系統のイメージだったように記憶しています。

当時の新開地は大変な人出で、喫茶店もたくさんありました。「スリに気をつけなあかんで」と祖母によく言

われました。

神戸を代表する繁華街だった新開地も、その後少しずつ人出が少なくなり、1980年代にはかなり寂れていたように思いますが、ここ10年くらい、地域のみなさんの積極的な取り組みにより、かなり蘇ってきたように感じます。

3月13日には、「新開地演芸場（仮称）」の計画が正式に発表されました。県市協調で計画を支援していきます。

新開地がさらに賑やかで楽しい街になるよう、神戸市としても全力で取り組んでいきます。

自転車事故の思い出

(2016年12月25日)

インフルエンザが流行るころになると、中二の時の自転車事故を思い出します。

学級閉鎖になり、これ幸いと、同級生とふたりでサイクリングに出かけました。

鈴蘭台から二軒茶屋に出て有馬街道に入り、箕谷から山田中学の前を通り、われわれはペダルを漕ぎつづけた。



「餓鬼の喉」を越え、山田の田園風景を眺めながら颯爽と進みます。途中で道は下り坂になり、右にカーブして山田川にかかる橋を渡るはずでした。ところが…まるで分解写真を見ているようでした。

先を走っていた私は、カーブを曲がりきれず、橋の欄干に激突してしまったのです。

気が付いたら、自宅の布団の中でした。ずいぶん長い間、気を失っていたのでしょう。何が起こったのか、理解できませんでした。

しばらくして激しい吐き気に襲われ、私は何回も洗面器に吐き続けました。往診に来られた先生が、脊髄から水を抜きました。めちゃくちゃ痛かったです。

歳月が流れ、4年前、神戸に戻ってしばらくして、四十年ぶりに同級生と再会しました。新開地の居酒屋で酒を酌み交わし、自転車事故のことを尋ねました。彼は鮮明に覚えていて、あのときのことを詳しく説明してくれました。

橋の欄干に激突した私の体は、2メートルか3メートル跳ね上がって宙に舞い、道路の上にたたきつけられたのだそうです。

「川に落ちたら死んどったで」確かにそうでした。自転車は、自らに対しても、他者に対しても、凶器になり得ます。くれぐれも運転には気を付けてください。

新長田合同庁舎への県・市組織の移転

(2017年1月24日)

新長田再開発地区に兵庫県・神戸市合同庁舎の建設を進めていますが(2015年9月28日のブログ)、このほど合同庁舎に移転する兵庫県の関係組織が固まり、次のとおり発表されました。

神戸総合庁舎の神戸県民センター 県民交流室、神戸県税事務所
西神戸庁舎の神戸県民センター 西神戸県税事務所
公社館の住宅供給公社 神戸事務所
神戸クリスタルタワーの神戸生活創造センター

神戸市は、すでに市税部門(本庁税部門の一部・各区市税事務所)と神戸すまいまちづくり公社の移転を決定しています。

県から約300人、市から約750人、合計約1050人の職員が移転します。

税務部門の集約により、県税、市税の納付、減免などの手続きが一カ所で行えるようになるなど、行政サービスの向上が見込まれます。

また、県営住宅、市営住宅、公社住宅の募集窓口も集約されます。

合同庁舎の建設場所は、「アスタくにつか」に隣接する神戸市の市有地です。

平成29年度に建築工事に着手し、平成31年度中の移転を目指して事業を進めます。

すでに、アスタくにつか地区では、合同庁舎のサービス開始を見込んで、税に関連する事務所を含め、新規入居が相次いでいるのはありがたいことです。

合同庁舎の整備が、周辺地域に賑わいをもたらすことができるよう、地域のみなさんとともに進めていきます。



後援会からのお知らせ 平成28年度収支決算について

平成28年度(1月1日から12月31日まで)の収支決算状況は、以下のとおりです。

収入合計は、7,775万円でした。主な内訳は、前年度からの繰越金3,359万円、寄附金792万円、「久元きぞうと語る会」会費など3,615万円です。

支出合計は、3,216万円でした。主な内訳は、職員の人件費、家賃などの

事務所経費1,130万円、「語る会」開催事業費713万円、機関紙などの宣伝事業費255万円、借入金返済800万円などです。

収支差額4,558万円を29年度に繰り越します。

なお、借入金残高は、1,500万円となっています。

久元市長に対する支援の輪を広げましょう。

後援会ではあなたのご入会をお待ちしています。既に会員の方は、新たに会員になっていただける方をご紹介します。

ご連絡は

① お電話で 078-222-0155

又は

② ネットで 久元きぞう

検索

クリック

